

年末年始「テレビをたっぷり見る」人は 44.0%

いっしょに見るのは 1 位「同居の家族」69.7%、「自分だけ」は 18.2%

「紅白歌合戦、続けて欲しい」61.6%、見たくないのは「格闘技」58.2%

「オレンジページくらし予報」では今年 11 月、女性を対象に「年末年始のテレビ」について調査しました。今、「テレビ離れ」という言葉が生まれるほど、若年層を中心にあまりテレビを見なくなったといわれています。また、家に数台テレビがあるという家庭も少なくなく、「同じ番組を家族で見る」というなつかしい風景は今どう変化しているのでしょうか。意外な結果やほっとする結果から、変わっていくこと、変わらないことがうかがえる興味深い調査結果となりました。

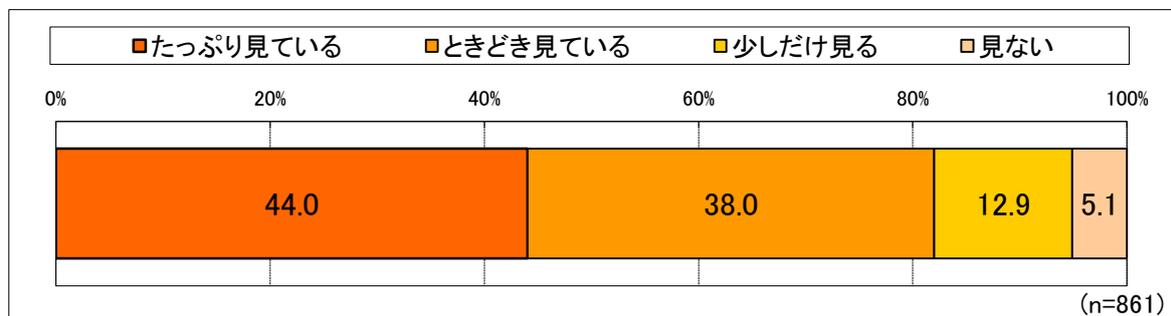
【ダイジェスト】

年末年始「テレビをたっぷり見る」人は 44.0%、視聴時間は「5 年前より減った」34.3%

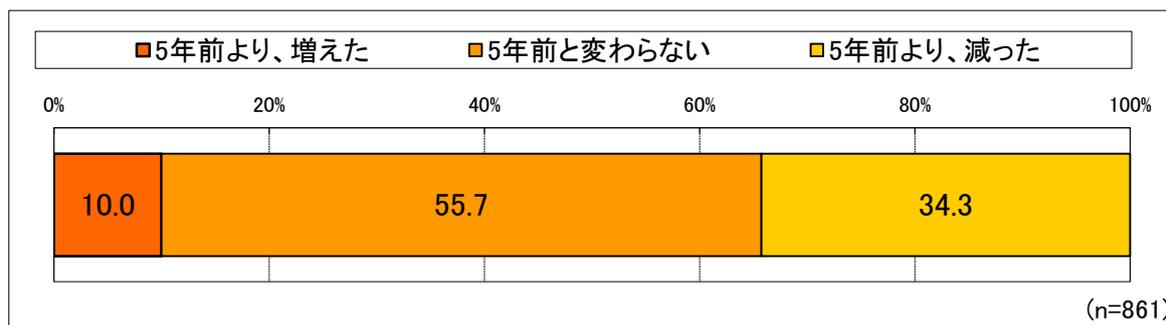
見るときは「みんなそろって」が 59.0%。最多は「同居の家族と」69.7%

「紅白歌合戦、続けて欲しいと思う」61.6%、見たくない番組 1 位は「格闘技」58.2%

Q 年末年始(12月30日～1月3日)にあなたはテレビを見ますか？



Q 「年末年始にテレビを見ている時間」は、5年前に比べて変化しましたか？



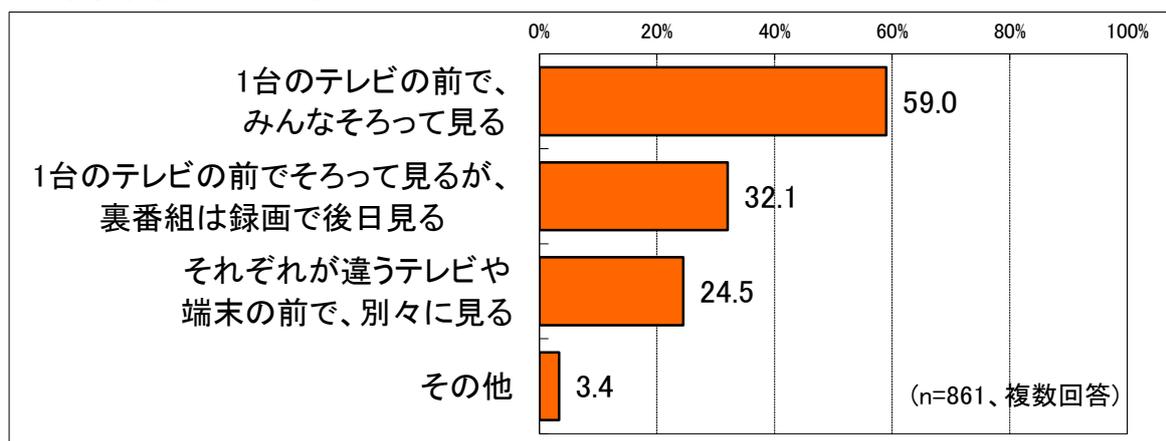
年末年始「テレビをたっぷり見る」人は 44.0%、視聴時間は「5年前より減った」34.3%

今回も調査対象は女性。そのうち既婚者は 76.3%、30 代後半から 50 代前半という年代が中心です。仕事も学校もお休み、ということは一家の主婦が忙しい、ということ。ましてや年末年始は大わらわだろうと想像できるのですが……。「年末年始 (12 月 30 日～1 月 3 日) に、あなたはテレビを見ますか」の設問では「たっぷり見ている」が 44.0%、「ときどき見ている」が 38.0%、家事で大忙しにもかかわらず、結構多くの主婦が年末年始のテレビを楽しんでいます。

「<年末年始にテレビを見ている時間>は、5年前に比べて変化しましたか？」という問いには「変わらない」と答えた人が一番多く、55.7%。つまり、過半数の視聴時間は5年前と変わらないことがわかりましたが「減った」と答えた人 34.3%と、全体の 3 割の人たちの年末年始のテレビ視聴時間は5年前より減っている、という結果になりました。

ちなみに、「12 月 30 日～1 月 3 日の間で、テレビを (見ていなくても) 一番長時間つけている日はいつですか？」で圧倒的 1 位は「12 月 31 日」66.2%、「1 月 1 日」は 20.2%でした。

Q 年末年始にテレビを見るとき、どんなふうに見ていますか？

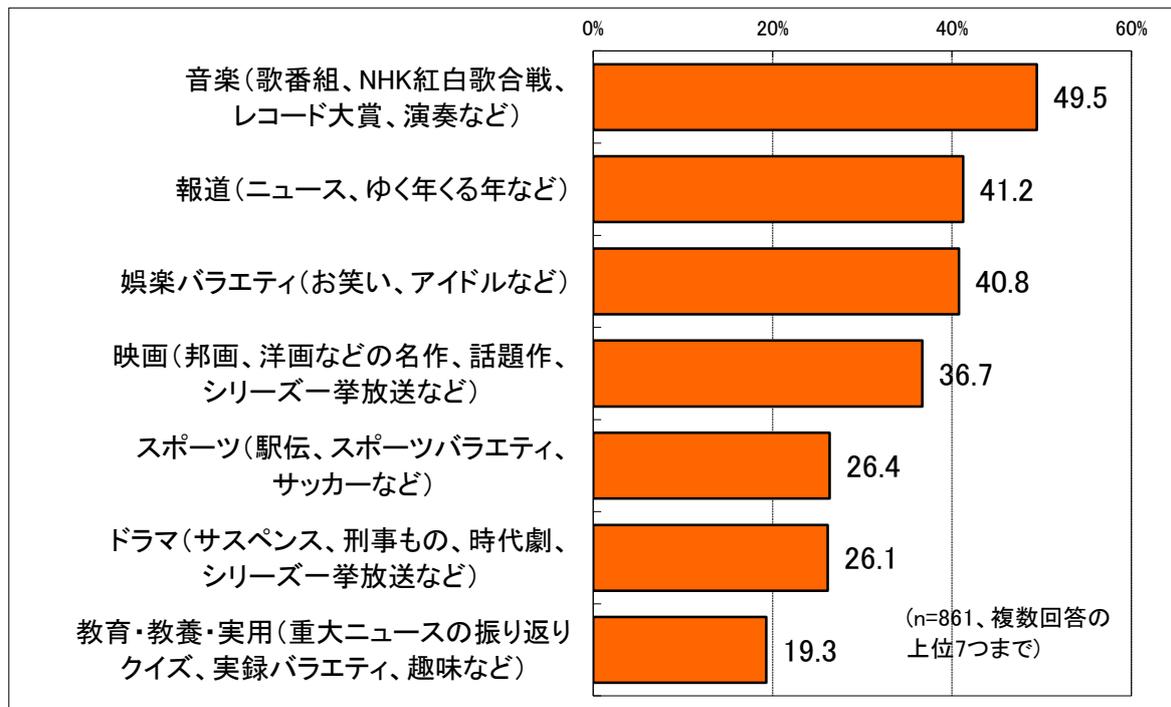


見るときは「みんなそろって」が 59.0%。最多は「同居の家族と」69.7%

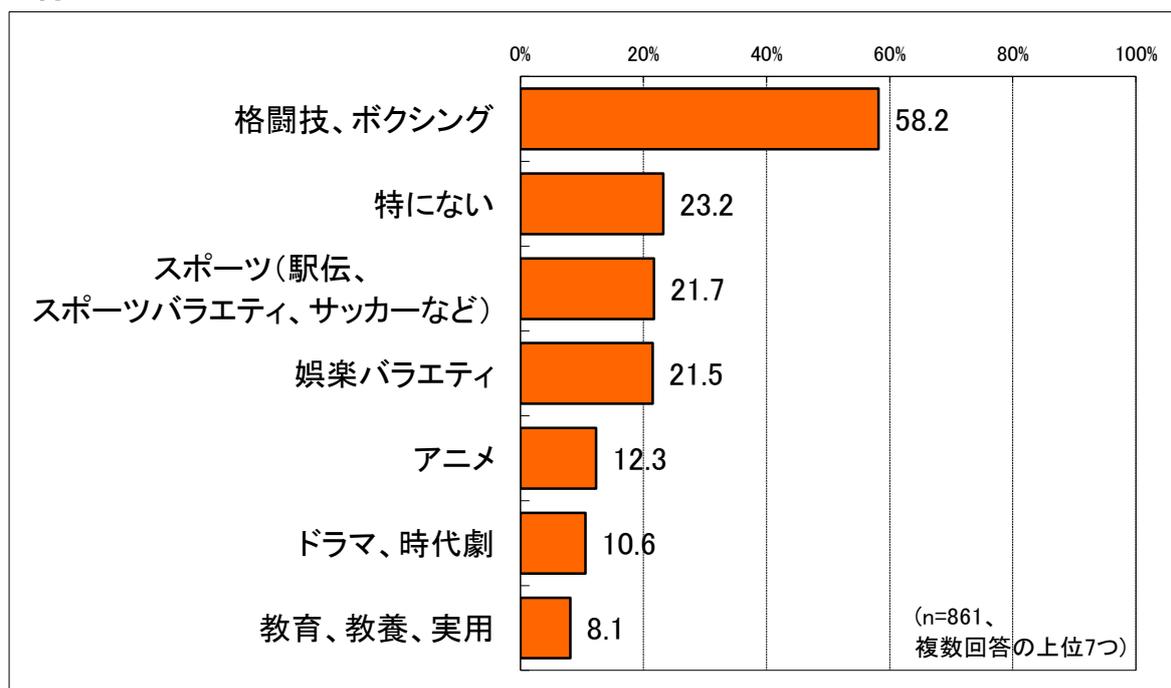
ふだんよりも家族で過ごすことが多くなる年末年始、やはりテレビも家族で見ているようです。まず「年末年始にテレビを見るとき、どんなふうに見ていますか？」では「1 台のテレビの前で、みんなそろって見る」人が 59.0%、「1 台のテレビの前でそろって見るが、裏番組は録画で後日見る」人が 32.1%、「それぞれが違うテレビや端末の前で、別々に見る」が 24.5%でした。およそ 6 割の人が「みんな」と見るのですが、その「みんな」とは？ 「12 月 30 日から 1 月 3 日の間、テレビを誰と見ることが多いですか？」の設問のトップは「同居の家族と」69.7%でした。視聴時間

が短くなり、それぞれが自分の好きな番組を各自で見る傾向の強い時代になっても、年末年始は家族そろってテレビを見る家庭がまだ多い、ということです。それはもちろん、「年末年始といえば……」という、歳時記のような番組がいくつかあることも、テレビが“家族を集める場所”になる要因でしょう。

Q あなたが年末年始(12月30日～1月3日)に見たい!と思うテレビ番組・ジャンルは何ですか?



Q 年末年始に放送されるもので、「あの番組(またはジャンル)は苦手だ/見たくない」と思うものは何ですか?



「紅白歌合戦、続けて欲しいと思う」61.6%、見たくない番組 1 位は「格闘技」58.2%

「あなたが年末年始に見たい番組は？」と聞いた質問の 1 位は音楽 49.5%、2 位報道 41.2%、3 位 娯楽バラエティ 40.8%。とくにフリーアンサーの中で頻発したのは「NHK 紅白歌合戦」「NHK ゆく年くる年」「(大学・実業団) 駅伝」、そして「絶対に笑ってはいけない 24 時シリーズ」……。

「紅白、笑ってはいけないなど、定番のものをみて年末年始をかみしめる (笑)」(40 代・専業主婦)、「ゆく年くる年を見ると新年を迎えるという心構えができる」(20 代・フルタイム)、「駅伝を見て感動したい」(40 代・フルタイム) など、要は「いろんな世代の家族が集合するので、みんながなるべく楽しめる番組」(30 代・フルタイム) ということのようにです。また、「紅白歌合戦はこれからも続けて欲しい番組ですか？」という問いには「とてもそう思う」21.1%、「ややそう思う」40.5%と、続けて欲しいと思う人が 61.6%でした。

逆に、「見たくない番組」をたずねたところトップになったのは「格闘技・ボクシング」58.2%、2 位は「特にない」23.2%、3 位が「スポーツ」21.7%でした。「格闘系。血が出たり、殴り合いだから好きじゃない」(30 代・パート) という声に代表されるように、やはり女性は格闘技が苦手なようです。

「コタツに入りながら、家族で紅白を見ていると、家族っていいなーと思う」(30 代・専業主婦) という声が代表するように、ふだんはともかく、年末年始に家族がテレビを見て笑ったり、歌ったり感動できることは幸せの形の一つと言えるようです。

アンケート概要

●調査対象：オレンジページくらし予報モニター会員・国内在住、20 歳以上の女性（有効回答数 861 人）

●調査方法：インターネット調査 ●調査期間：2016 年 11 月 1 日～11 月 14 日

●「オレンジページくらし予報」について

オレンジページくらし予報とは、オレンジページ社のモニターのなかでもアクティブな会員 1 万人の声を集めたリサーチ・コミュニティです。当社のモニターには、〈一般女性よりも「食意識」「生活全般に対する意識」が高い〉という特徴があります。くらし予報では、20 代後半から 50 代の生活者が感じていることを引き出します。食意識を軸に対象者を 6 つのタイプに分類し、調査、比較検討することも可能です。WEB 上でのアンケート調査、キッチンスタジオ「オレンジページサロン」を利用した座談会など、ご相談に応じて展開いたします。

●『オレンジページ』について

失敗なくおいしく作れるレシピ情報が支持され、今年創刊 31 周年を迎えた生活情報誌。30～40 代の主婦を中心に幅広い読者層を誇ります。発行部数＝336,755 部（2015 年印刷証明付発行部数）。

この資料に関するお問い合わせ

株式会社オレンジページ

コトデザイン部 暮らし予報担当

kurashi@orangepage.co.jp Tel. 03-3436-8418

<http://www.kurashi.orangepage.jp/>

取材お申し込み

株式会社オレンジページ 広報室 遠藤

press@orangepage.co.jp Tel. 03-3436-8421